



# 神話の源流

はじまりの物語

運命の出逢いを辿る 延岡の旅

神話の源流へ。  
宮崎県



# 山の上の祈り

歌人・作家 東 直子

人はなぜ祈るのだろうか。受験や恋愛成就、病気の治癒など、自分自身の努力だけでは足りない、運のようなものを加味したくて、神様に祈る（お願いする）、ということとは多くの人がしていることだと思われ、本来、祈るといふ行為は、そういう即物的な内容のためではないのでは、と、延岡の地を巡りながら思った。

山幸彦が子どもの頃に遊んだという「神さん山」に上るには、少々覚悟が必要である。ワンピースにハイヒール、なんて格好ではとても登れない。歩きやすい靴で来てくださいね、とは言われていたけれど、これほどとは！ ワイルドな階段のついた、ワイルドな山道である。真夏に伺ったのだが、杖をついて一歩一歩足下を確かめ、縄や木など、頼れるものはしっかり頼り、地を踏み締めながら頂上についたときは、流れ出る汗とともに、爽やかな達成感に包まれた。

なんと荘厳で、清らかな場所だろう……。見あげるばかりの巨大な岩と、シャープな三角の岩。その奥に神秘的な空洞が見える。ここに、山幸彦が祀られている。確かに、神様が遊び、神様が眠った、と信じるに値する豊かなしずけさを感じる。自分の瑣末な願いなど、どうでもよくなってくる。長い長い時間がこの星に流れてきたことそのものの尊さに気づき、目を閉じ、手を合わせ、自分を一度「無」の状態にしてみたくなる。一度空っぽにした胸に、清らかな山の空気がゆっくりと充ちてくる。

古代の神様たちは、おおらかだ。中でもこの山幸彦は、「祝子」と呼ばれた幼年時代に、野山の自然が大好きで、誰も近寄らないような荒れた山でも平気で駆け回ったそうだ。やがて荒れていた山は豊かになり、災害もなくなり、幸せをもたらす山となっていく。そのため「山幸彦」と呼ばれるようになった、という。祝子が山々を巡るうちに、山々と心を通い合わせあったのではないかしら、などと、物語の内側をふくらませたくなってくる。

この山幸彦の両親にあたるニギノミコトとコノハナノサクヤヒメが出逢ったとされる愛宕山は、愛を誓うのいうってつけの場所、ということになっているらしい。街と海と空を一望できる展望台のモニュメントには、二人のイニシャルを刻んだ南京錠がぎっしりと吊るされている。すっかり錆びて年季の入ったものもある。鍵は海に投げ捨てたりしたのだろうか。みんなみんな幸せであるといいな、と素直に思う。

その他、ヤマトタケルの伝説が残る行藤神社の、大樹の木漏れ日が心地よい参道を歩いたり、延岡城跡にある若山牧水の歌碑を眺めたり、延岡の木々と風と階段を存分に楽しんだ。やがて陽もとっぷりと暮れ、喉もからからだった。その時飲んだ延岡のクラフトビール、「ひでじビール」は、ものすごくおいしかった。私はお酒に弱く、ふだんはビールもあまり飲まないのだが、その時はぐいぐいと気持ちよく飲み干してしまった。その土地でその土地のものをいただく美味しさを、これほど実感したことはなかった。

望まれて別名を持ち大岩にかつてのぼったしずかなくほみ

(折句・延岡市)

【執筆者紹介】

## 東 直子

歌人、作家。1996年、第7回歌壇賞、2016年、『いとこの森の家』で第31回坪田譲治文学賞受賞。歌集『十階』、小説『とりつくしま』『晴れ女の耳』、エッセイ集『七つ空、二つ水』『短歌の詰め合わせ』、共著に『短歌タイムカプセル』等。「東京新聞」「オール讀物」「公募ガイド」選者等。



# ニニギノミコトと コノハナノサクヤヒメの 出逢いの物語をたどる。

## 出逢いの地と伝わる「愛宕山」

市街地南部にある愛宕山は、かつて笠沙山と呼ばれ、ニニギノミコトとコノハナノサクヤヒメの物語が残されています。

高千穂に降り立ったニニギノミコトは、川をくだって笠沙の岬までくると、桜の花が咲くように美しい娘に出逢います。「誰の娘か」と尋ねると、娘は「山の神オオヤマツミノカミの娘で、名はコノハナノサクヤヒメ」と答えます。一目で気に入ったニニギノミコトは、使者を遣わしてオオヤマツミノカミに結婚を申し入れ、二人はめでたく結ばれました。

コノハナノサクヤヒメとの運命の出逢いを果たしたニニギノミコト。ここから始まる新たな出逢いの旅に出かけましょう。

愛宕山・御手洗水神社



### 66 愛宕山

ニニギノミコトとコノハナノサクヤヒメが出逢った笠沙の岬だと伝わります。山頂には展望台があり市街地を一望することができます。「日本夜景遺産」「夜景100選」に認定されています。二神の出逢いにちなんで、多くの人が訪れ恋愛成就を祈願してモニュメントに鍵をかけます。

所在地：延岡市愛宕山

お問合せ：延岡市観光戦略課 TEL：0982-34-7833



### 卍 愛宕神社

もともと別の場所にありましたが、慶長年間(1596-1615)に当地に遷され、以後この地を愛宕山と称するようになりました。山頂には奥宮があり、地元では「極天(ごってん)さん」と呼ばれ親しまれています。

所在地：延岡市愛宕山 6112-口

お問合せ：春日神社社務所

TEL：0982-32-2520



### 卍 春日神社

ニニギノミコトと一緒に天降った神々を御祭神としています。社殿の両側にそびえるご神木の大神は、樹齢900年ともいわれています。

所在地：延岡市恒雷町 4-207

TEL：0982-32-2520

### 卍 今山八幡宮

「はちまんさん」と親しまれ、特に2月10日、11日に行われる境内末社の今山恵比寿神社のお祭り「のべおか十日えびす」は多くの人で賑わいます。

所在地：延岡市山下町 1-3875

TEL：0982-21-4525



## 周辺観光Info.

## Information

### 四季を感じる

### 66 延岡城跡 城山公園

二の丸には高さ約19mの「千人殺しの石垣」と呼ばれる石垣が残っています。春は桜、冬は椿が咲きほこり、日本三大ヤブツバキ群として知られています。

所在地：延岡市東本小路 178

お問合せ：延岡市都市計画課 TEL：0982-22-7046



### 66 鮎やな

川をせき止め、落葉(おです)と呼ばれる竹のスノコの上に落ちた鮎を捕る伝統的な漁法で、水郷延岡の秋の風物詩となっています。

お問合せ：(一社)延岡観光協会

TEL：0982-29-2155



ニニギノミコトの  
その後の物語がここに。

えのさんりょう  
ニニギノミコトが眠る「可愛山陵」

延岡市には、ニニギノミコトの御陵墓と伝わる場所があります。

ニニギノミコトは笠沙の岬でコノハナノサクヤヒメと出逢い、二人は結ばれますが、コノハナノサクヤヒメとともに嫁いだ姉のイワナガヒメを送り返したため、天つ神の子孫は寿命をもつことになったといわれます。その後、ニニギノミコトが崩御されると、笠紫の日向の可愛山陵に葬り祀られました。

さらにここには、ニニギノミコトと西郷隆盛にまつわる逸話も残されています。西南の役の際、薩摩軍が可愛岳の麓に宿陣しますが、ここにニニギノミコトの御陵墓があり、自分達を守ってくれると信じたからだといわれています。

ニニギノミコトにまつわる時を越えた二つの物語。昔から可愛山陵を大切にお守りしてきた地域の人々の思いを知ることができます。

北川陵墓参考地

66 北川陵墓参考地

可愛岳(えのたけ・標高728m)の麓にあり、宮内庁の陵墓参考地となっています。可愛岳そのものが、ニニギノミコトの御陵墓であると伝わり、山頂付近には鉾岩をはじめ不思議な巨石が点在しています。毎年4月には地域の人々によって御陵祭が行われています。

所在地: 延岡市北川町長井  
お問合せ: 延岡市北川地域振興課 TEL: 0982-46-5010



えの こんげん  
14 可愛権現神社

もとは可愛岳山頂にあったとされますが、山が険しいため、可愛岳の麓に遷座されたと伝わります。ニニギノミコトを御祭神とし、近くにはコノハナノサクヤヒメを祀る天神社があります。

所在地: 延岡市北川町長井4695-乙  
お問合せ: 延岡市北川地域振興課  
TEL: 0982-46-5010



周辺観光Info.

Information

さまざまな歴史にふれる

66 西郷隆盛宿陣跡資料館

明治10年8月、和田越の戦いで敗れた薩摩軍は、可愛岳の麓・俵野地区に陣をとりました。資料館には、西郷隆盛の遺品や資料が展示されているほか、周辺一帯が青空テーマ館となっていて、散歩することができます。

所在地: 延岡市北川町長井 6727  
TEL: 0982-46-2960



66 菊次郎加療の地

戦いで負傷した西郷菊次郎が療養していた場所で、父・西郷隆盛との永遠の別れの地となりました。

所在地: 延岡市北川町長井 6725  
お問合せ: 延岡市北川地域振興課  
TEL: 0982-46-5010



14 道の駅北川はゆま

東九州自動車道北川ICに隣接し、特産品やお土産が豊富に揃っています。はゆまとは古代駅制度の駅馬(早馬)のこと。

所在地: 延岡市北川町長井 5751-1  
TEL: 0982-24-6006



英雄の物語とともに  
豊かな自然を満喫する。

## ホオリノミコトとヤマトタケルゆかりの地へ

ニギノミコトの子を身ごもったコノハナノサクヤヒメは、ホデリノミコト、ホスセリノミコト、ホオリノミコトの三人の皇子を産み、ホオリノミコトは、山の幸を獲るので山幸彦と呼ばれるようになります。延岡市の山あいには、ホオリノミコトが産湯に使ったとされる祝子川や岩屋とされる神さん山などゆかりの地が多く残されています。

また、ヤマトタケルにまつわる伝説も残っています。熊襲討伐のためこの地にやってくると、山の麓にいたカワカミタケルという敵将を打ち倒し、タケルという名をもらいました。ヤマトタケルは、その山のかたちが行騨むかばきに似ていたことから行騨山と名付けたと伝わります。

豊かな自然に包まれながら、この地に伝わる物語に触れれば、より奥深い旅になるはずです。

行騨山

※狩猟や騎馬の際、脚を覆うため腰に着用する鹿の毛皮などで作られた装束のこと。

### ♾ 神さん山

祝子川上流の山の急斜面を登った所にあり、高さ24mと15mの巨石が支え合って岩屋を形成し、その中央に2mの真三角形の岩が鎮座しています。

所在地：延岡市北川町川内名 10386  
お問合せ：延岡市北川地域振興課  
TEL：0982-46-5010



### ♾ 行騨山

標高830mの岩肌が露出した雄々しい姿が特徴です。修験道の霊山としても知られ、行騨神社の御神体となっています。雄岳、雌岳の間から流れ落ちる行騨の滝は、ヤマトタケルが詠んだ歌にちなんで矢筈（やはず）の滝とも呼ばれています。日本の滝百選。

お問合せ：延岡市観光戦略課  
TEL：0982-34-7833



### 卍 行騨神社

古くから神霊の宿る山として信仰を集めた行騨山の麓に、熊野権現を勧請して創建されたと伝わります。境内では、猿のような表情をした珍しい狛犬が、参拝者を迎えてくれます。

所在地：延岡市行騨町 748-1  
TEL：0982-39-0219



夫婦杉



## 周辺観光Info.

Information

### 大自然を楽しむ

#### ♾ 祝子川温泉美人の湯

大崩山の麓にある天然温泉。露天風呂からは、四季折々の雄大な景色を望むことができます。

所在地：延岡市北川町川内名 10358-10  
店休日：木曜日（祝日の場合は営業）  
TEL：0982-23-3080



#### ♾ アウトドア体験

延岡の山、川、海を知り尽くしたスペシャリスト「ノベ☆スタ（感動体験案内人）」が案内。色々なプログラムがあるので、初心者でも気軽に楽しむことができます。

お問合せ：NPO法人ひむか感動体験ワールド  
TEL：0982-29-3835



# 延岡の特産品

豊かな自然とそこに息づく文化が育んだ逸品たち—。神話の旅と一緒にいかがですか？



## のぼりざる

江戸時代、延岡藩の武士の妻たちが手内職として作り始めたとされる郷土玩具です。張り子の猿が菖蒲絵の幟にさげられ、風を受けると竿を伝って登ります。昔は子供の立身出世、無病息災、五穀豊穡を願い、端午の節句に鯉のぼりと一緒に揚げられていましたが、今は、土産物や転動する方への「はなむけ」として贈られています。

## 伊勢えび

日向灘では9月から3月まで伊勢えび漁が解禁されます。9月からの3か月間「東九州伊勢えび祭り」が開催され、新鮮な伊勢えびを食べることができます。海の香りと豊かな味わいが楽しめる刺身や塩焼きなどがおすすめです。



## めひかり

大きく青く光った目を持つことからその名がついた深海魚で、淡白な白身が特徴です。唐揚げにして骨ごと食べるのが主流ですが、新鮮なものは刺身で食べることができます。



## 岩ガキ

日豊海岸で獲れる岩ガキは、ミネラル豊富な海水と山々から流れ出した雨水によって育ち、大粒で濃厚な味わいが特徴です。4月から8月にかけて「日豊海岸岩ガキまつり」が開催されるので、旬の岩ガキを堪能してみませんか。



## 鮎

五ヶ瀬川は鮎の餌となるコケが豊富にあり、体長30cmを超える鮎が生息しているため、「延岡は鮎の宝庫」と称されます。やな漁は全国的に見られる漁法ですが、川幅の広い場所に架けられる鮎やは、他に類を見ない壮大なスケールです。



## 藻イカ

延岡市北浦町では、アオリイカのことを藻イカと呼んでいます。10月頃から旬を迎え、定置網漁や一本釣りで漁獲されます。弾力性に富んだ肉質と強い甘みの特徴で、刺身や天ぷら、一夜干しの加工品にするなど、地元で愛されている食材です。

## チキン南蛮

延岡発祥のグルメとして知られるチキン南蛮。タルタルソースをかけた一般的なチキン南蛮と、こだわりの甘酢ダレだけで味わうシンプルなチキン南蛮の2系統があるのが、発祥のまちならではの。



## 辛麺

秘伝のスープに細かく刻んだ唐辛子、にんにく、ニラ、挽き肉をたっぷりに加え、卵をからめる独特な麺料理です。延岡発祥ソウルフードの一つで、そば粉と小麦粉で練られてコシを強くした通称「コンニャク麺」を使用するのが特徴です。

## やぶれまんじゅう

小麦粉で作った皮のところどころから、中の餡が見える薄皮まんじゅうで、延岡銘菓の一つ。「オガタまんじゅう」とも呼ばれ、アマテラスの岩戸隠れの際に、アメノウズメノミコトが持って舞ったオガタマの小枝の実が由来といわれています。



# 延岡の神楽

延岡の神楽は、平野部の縣(あがた)神楽、北浦町の三川内神楽(市指定無形民俗文化財)や市振神楽、北方町の神楽などがあり、山間部から沿岸部の各地に多彩な系統の神楽が伝承されていることが特徴です。例年11月には延岡城跡城山公園で市内外から複数の神楽が参加する「城山かぐらまつり」が開催され、多くの神楽ファンが集います。



## 祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク

宮崎県と大分県にまたがる祖母・傾・大崩山系は、急峻な山々や美しい渓谷など独特の景観美を持ち、ニホンカモシカ等の希少動物の宝庫としても知られています。この地域では、豊かな自然を守りつつ、山々の恵みを上手に活用した暮らしが営まれてきました。こうした自然的特徴や自然と人の共生の仕組みが評価され、平成29年にユネスコエコパークに登録されました。

# 延岡 MAP



# おすすめ観光ルート

延岡の魅力がたっぷり味わえる  
とっておきのスポット満載ルート

天孫ニギノミコトにまつわるさまざまな物語にふれ、山、海、川の豊かな自然を満喫する旅へ出かけよう！

## 延岡コース1



## 延岡コース2





